

# 全圧連会報

第 55 号  
2018.9



## contents

第7回通常総会を開催	1
全圧連主要会議報告 / 登録基幹技能者更新講習のご案内	4
平成30年度 全国統一安全・技術講習会カリキュラム および資格PRリーフレット刷新のお知らせ	5
第21回若手幹部研修会のご案内	6
建設キャリアアップシステムのスケジュール の見直しについて	6
単協・会員企業の活動紹介	7
全圧連からのお知らせ	9
建退共のご案内	10
全圧連の動き・今後の主な予定	11

# 第7回通常総会を開催

第7回通常総会が去る5月23日(水)、東海大学校友会館(東京都千代田区・霞が関ビル35階)において開催され、平成29年度の事業報告および同収支決算報告、また平成30年度の事業計画(案)および同収支予算(案)が原案どおり承認可決されました。平成30年度の全圧連は、経年からの課題に取り組むとともに、働き方改革を背景とした圧送施工の作業環境改善と生産性の向上、技能者の処遇向上を目指し、下記の5つを重点施策として事業を推進してまいります。

なお総会では、優秀従業員表彰や、功績のあった単協役員・職員の方々に感謝状を贈呈する表彰式が行われました。表彰等を受けた方々を以下にご紹介いたします。まことにおめでとうございます。



総会で挨拶する全圧連長谷川会長

## 平成30年度重点施策

1. 全圧連組織の拡大・強化
2. 適正な圧送工事原価の確保
3. 安全施工の推進、災害事故の撲滅
4. 作業環境改善・生産性向上および労働条件の改善、若手技能者の確保・育成
5. 有資格者の育成と技能向上、評価・活用の推進

## 第7回通常総会 表彰状・感謝状贈呈者

### ▶ 優秀従業員表彰(勤続20年以上、かつコンクリート圧送施工技能士1級の方々) (以下 敬称略、順不同)

単協名	事業所名	氏名
北海道 岩手 山形 "	三立コンクリート打設(株)	相原 直人
	(有)平和圧送	佐々木 大心
	双葉重機リース(株)	安食 輝彦
	大和コンクリートサービス(株)	日野 光義

### ▶ 優良従業員表彰(勤続15年以上、かつコンクリート圧送施工技能士2級以上の方々)

単協名	事業所名	氏名
山形	大和コンクリートサービス(株)	佐藤 洋悦

### ▶ 特別表彰(優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)候補者)

単協名	事業所名	氏名
東京 福井 近畿	東圧興業(株)	高津 竜也
	(有)川端工業	中村 光宏
	トモエポンプ	共田 昌一

▶ 特別表彰(青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター)候補者)

単協名	事業所名	氏名
北海道 東京	(有)北武圧送 三城建機(株)	大輪 隆太 向井 真紀

▶ 役員および職員表彰

単協名	事業所名	氏名
栃木 富山	前全圧連常務理事・技術委員長 前単協理事長	岡本 圭市 貴堂 邦克

▶ 特別功労賞

役職名	氏名
登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会 副委員長 第1回全国圧送技術大会 実行委員会 委員長	中田 善久
登録コンクリート圧送基幹技能者認定委員会 委員 第1回全国圧送技術大会 論文審査表彰委員会 委員長	鈴木 澄江



表彰式の様子



来賓挨拶を行う細澤幸広氏(極東開発工業(株))



全圧連 長谷川会長挨拶  
(第7回 通常総会懇親パーティー)

第7回の通常総会終了後の懇親会に、このように大勢お集まりいただき誠にありがとうございます。

私が全圧連の会長となり3年が経過する中で、社会、また建設業界の変革期に入り、たくさんの解決しなければならない課題が見えてまいりました。中でも、働き方改革については、首相官邸での会議をはじめ国交省等の会合におきまして、生産性向上の施策とともに議論を重ね

ながら、全圧連の会長として、建専連の副会長として中身の濃い活動をさせていただき、会員の皆さまに少しでも早く業界の動向をお伝えできるよう、良い方向に進めるよう頑張っている次第でございます。まだ会長として様々なことを申し伝えていく慣れがなかなかできておりません。皆さまにご迷惑をおかけしておりますが、もう1年邁進する所存でございますので、よろしくおねがいします。

また、賛助会員の皆さまには第1回全国圧送技術大会や会員企業に対する日々のサポートによるご支援をいただき、誠にありがとうございます。われわれ会員も良い機械、良い設備投資をして、担い手が定着しやすい環境を整えることを目標としております。働き方改革を基にした受注単価の向上、従業員の処遇改善を達成できる全圧連を運営したいと考えております。本日はみなさまに楽しく過ごしていただければ幸いです。



**国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課  
専門工事業・建設関連業振興室長  
高田龍様 ご挨拶(要約)**

本日、通常総会が無事終了され、懇親パーティーがこのように盛大に開催されましたこと、まず心よりお慶び申し上げます。長谷川会長はじめ全圧連の皆さまには常日頃から国土交通行政、建設産業行政にご協力・ご理解いただきまして誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

コンクリート圧送業の役割は、皆さまがご承知のとおり、構造物が高層化・長大化している中で、正に品質の要でございます。また、全圧連におかれましては登録コンクリート圧送基幹技能者制度の運営、安全・技術講習会の継続開催など、人材育成の取組みについてもご尽力いただいていること、敬意を表する次第であります。

長谷川会長から働き方改革のお話でしたが、わが国は少子高齢化社会を迎えております。建設業における将来の担い手の確保、品質の確保、技能の伝承は喫緊の課題であります。そうした中、国土交通省で「働き方改革加速化プログラム」を取りまとめました。同プログラムの内容は、主に「長時間労働の是正」、「給与・社会保険等による処遇の改善」、「生産性の向上」でございます。官民一体となって、また業界を上げて取り組んでいきたいと考えております。

「処遇の改善」につきましては、近々、建設キャリアアップシステムが稼働します。これは技能者の経験・資格の情報を蓄積し、それを処遇の改善に繋げる、また将来的な担い手の確保、業界への定着を目指すシステムです。まだ皆さまの理解を得ながら進めていかなければならないと思っているところではございますが、ぜひご理解、ご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

また、長谷川会長には建専連の副会長というお立場から、叱咤激励も含めた様々なアドバイスや、意見交換をさせていただいているところでございます。引き続きご指導いただければ有り難く存じます。

結びに、全圧連の益々のご発展、会員の皆さまのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。本日はまことにおめでとうございます。



**プツマイスタージャパン(株)  
代表取締役社長  
岡勇樹様様 ご挨拶(要約)**

圧送業界におかれましては、従来の安全施工に加えて、生産性の向上等、新たなアジェンダが台頭する時代を迎えていると認識しております。最前線の現場でご活躍されている全圧連会員企業の皆さまには、商品力、サービス等でいかに後方支援できるか、これが私どもメーカーをはじめとするサプライヤー側の務めです。このような取組みをより力強く

推進していくためにも、全圧連を通じた綿密なコミュニケーション、連携が今後ますます重要になってくると考えております。今後も引き続きご指導、ご協力を何とぞ、宜しくお願い申し上げます。

## 第62回技術委員会を開催

第62回技術委員会が6月12日(火)、東海大学校友会館(東京都千代田区)にて開催されました。

会議では、本年度の全国統一安全・技術講習会カリキュラムの審議を兼ねた講師研修のほか、技術委員会執行部の人事について、本年度事業計画について、輸送管に関するアンケート調査の実施について、圧送マニュアル新改訂版の発刊と内容について、建設キャリアアップシステムの導入と技能者評価・企業の見える化について、フルハーネス義務化への対応について、会員・有資格者起用PRリーフレットの刷新について、ヘルメット貼付用の安全・技術講習会修了者シールの作成などについて審議が行われました。



技術委員会の様子

## 第57回経営委員会を開催

第57回経営委員会が7月20日(金)、ホテル金沢(石川県金沢市)にて開催されました。

会議では、本年度事業計画について、生コン出荷動向について、建設キャリアアップシステムと企業の施工能力の見える化・技能者の能力評価の検討内容について、経営実態調査の中間集計結果報告について、働き方改革(週休2日制)に対応した圧送料金体系の検討について、安全衛生経費の確保策について、2019年版事故防止カレンダーの作成などについて審議が行われたほか、各単協の状況報告と意見交換が行われました。



挨拶する佐藤経営委員長

## 登録コンクリート圧送基幹技能者 平成30年度 更新講習 開催日程のご案内

登録基幹技能者には、5年に1度の修了証の更新が義務付けられています。登録コンクリート圧送基幹技能者講習修了証の有効期限が平成30年度の方は、本年度の更新講習を受講し、修了証の更新を行う必要があります。

対象の方につきましては、6月上旬にご案内をお送りして

おりますが、有効期限までに更新講習を修了しない場合、登録コンクリート圧送基幹技能者の資格が失効となりますので、ご注意ください。

### ■ 東京会場

開催地: 日本大学理工学部駿河台校舎1号館(東京都千代田区)

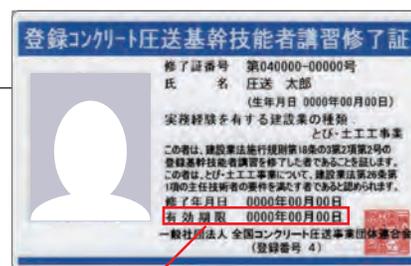
日時: ① 10月6日(土) 13:00 ~ 16:00

② 10月27日(土) 13:00 ~ 16:00

### ■ 大阪会場

開催地: 大阪コロナホテル(大阪府大阪市東淀川区)

日時: 10月13日(土) 12:30 ~ 15:30



本年度の更新講習は、有効期限が平成30年度、および平成31年度の方が対象です。

# 平成30年度 全国統一安全・技術講習会カリキュラム

本年度の全国統一安全・技術講習会は、以下の講習カリキュラムにて実施いたします。

## ① 「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」より

### 巻末資料「コンクリート圧送作業標準手順書」～注意すべき作業のポイントについて

本年度に発行する「最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル」の巻末資料「コンクリート圧送作業標準手順書」より、「ポンプ車の設置」「ブームの所定位置への誘導と移動」「ホッパ・バルブの洗浄」「ブーム・アウトリガの格納」の各作業について注意すべきポイントを学習します。

## ② 「最新コンクリートポンプ圧送マニュアル」より

### 第11章「コンクリートポンプの点検・検査」～ブーム・アウトリガ・輸送管の点検ポイント

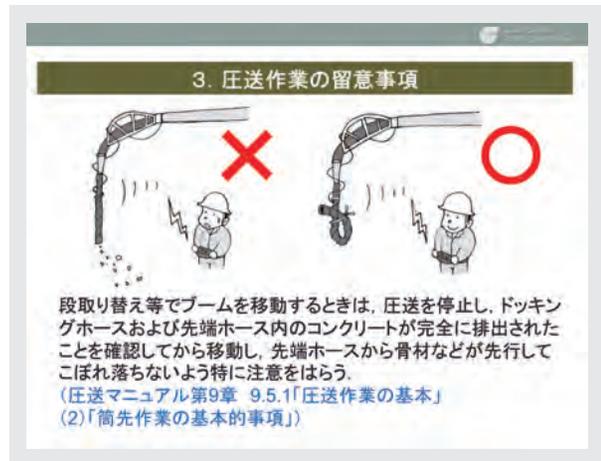
本年度に発行する「最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル」の第11章「コンクリートポンプの点検・検査」より、「ブーム装置」「アウトリガ装置」「輸送管」の点検ポイントについて学習します。

## ③ 知らないではすまされない作業員の6つの法的義務

作業員が遵守すべき労働安全衛生関係法令について学習します。

## ④ コンクリート圧送工事における災害事故報告2017

同類の事故防止に努めるべく、直近1年間に全圧連に報告された事故事例8件につき原因と対策を学習します。



講習資料の一例

技術委員会において、全国統一安全・技術講習会を修了された皆様にヘルメットに貼り付けていただく修了シールを本年度より作成いたしました（右記画像参照、サイズ横 85mm × 縦 30mm）。

講習会修了証とともに送りいたしますので、ヘルメットへの貼付をお願いいたします。



## 資格PRリーフレットを刷新・頒布しております。

平成22年度に作成・配布いたしました全圧連会員企業の優先起用PRリーフレットを、技術委員会での協議検討を経て今般刷新いたしました。

日本建築学会や土木学会、日本コンクリート工学会の工事仕様書で現場配置を明示されている「全圧連 全国統一安全・技術講習会修了者」をはじめ、安衛法に定める特別教育、および特別教育再教育修了者による施工をPRする内容です。

各単協事務局宛に所属会員数に応じた部数を配布しておりますので、ぜひご活用ください。



# 第21回若手幹部研修会 開催のご案内

全圧連では、コンクリート圧送工事業の時代を担う若手の方々を広く対象とした、経営と技術動向に関する第21回目となる若手幹部研修会を本年度も開催いたします。

## 第21回若手幹部研修会

日時: 11月9日(金) 13:00 ~ 11月10日(土) 12:00  
場所: 福岡東映ホテル(福岡県福岡市中央区高砂)

申込資格: 全圧連会員、  
満50歳未満で単協長の推薦のある方  
参加費用: 無料(交通費は各自でご負担願います)

### 研修内容

- 1日目** 研修①「建設市場の動向、建設産業および専門工事業の現状と今後に関する研修」  
講師: 建設産業専門団体九州地区連合会 事務局長代理 長濱弘樹 氏
- 研修②「コンクリート圧送施工に関する技術研修」  
講師: 日本大学理工学部建築学科 教授 中田善久 氏
- 2日目** 研修③「中小専門工事業の若手経営者・後継者の今後の経営展開に関する研修」  
講師: 公的支援機関登録専門家、JMC認定販路コーディネータ、JSRA認定講師 段谷陽一郎 氏  
意見交換会ほか



若手幹部研修会の様子(平成29年度)

## 建設キャリアアップシステムのスケジュールの見直しについて

本年10月からの稼働を予定していた「建設キャリアアップシステム」の運用について、システムの設計・開発に長期の時間を要していることから、導入時期が延期されることとなりました。

2019年1月以降、現場を限定して試験運用を開始し、

2019年春より本格運用が開始されます。

これに伴い、早期インターネット申請の登録料割引措置などの期間も延長されます(2019年3月まで)。

(詳しくはURLをご参照ください)→

<http://www.kensetsu-kikin.or.jp/ccus/index.html>

建設キャリアアップシステムの運用開始に向けた新しいスケジュール																
2018~19年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
システム	システム開発(就業履歴情報等に関するシステム開発)															
技能者情報(登録)	7月下旬以降: カード交付開始						技能者情報の登録 変更申請の受け付け・登録									
事業者情報(登録)	事業者情報の登録 変更申請の受付・登録															
現場運用										準備・調整		限定運用		本運用		
活用・普及	説明会の開催、セミナーの開催 チラシ・パンフレット・ポスターの作成									活用の周知・普及						



## 優秀外国人建設就労者表彰を受賞（(株)ヤマコン）

国土交通省では、外国人建設就労者のうち、建設技能・コミュニケーションスキルの習得、社会貢献活動に関する取組等が顕著である方を対象とした優秀外国人建設就労者表彰に関する検討・審査委員会（委員長：蟹澤宏剛氏（芝浦工業大学教授））による審査を行い、全国で5人の外国人就労者の方が「優秀外国人建設就労者表彰（国土交通省土地・建設産業局長賞）」として表彰され、ホアン ジン ホアン氏（(株)ヤマコン（山形））が受賞されました。誠にありがとうございます。



優秀外国人建設就労者表彰式にて撮影



ホアン ジン ホアン氏  
（ベトナム）

「仕事や生活で次の3つを大事にしています。一つ目は、職長レベルになることです。技能だけではなく、日本語を覚えること。二つ目は、一緒に働いている実習生の良きリーダーになること。三つめは、日本の文化を学び、またベトナムの文化を伝えること。」  
「ベトナムに帰ったら、特に日本人の働き方や考え方をベトナムの人たちに伝えたい。」



## 東海地区コンクリート圧送有限責任事業組合

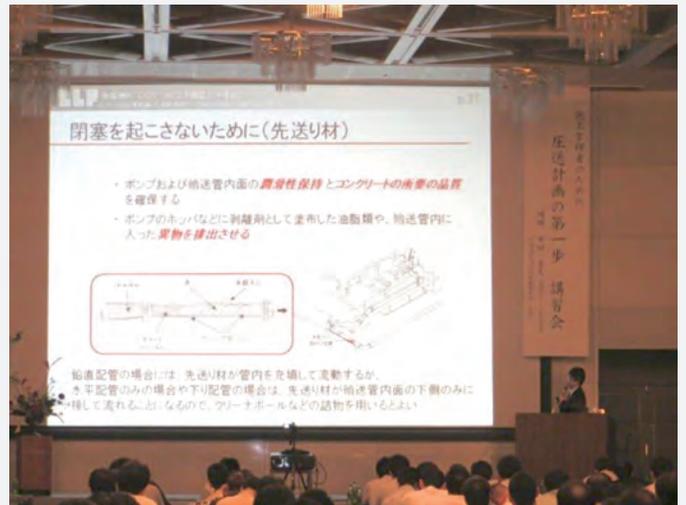
### 技術講習会「第2回 施工管理者のための圧送計画の第一歩」を開催

東海地区コンクリート圧送有限責任事業組合（以下、東海LLP）による技術講習会「第2回 施工管理者のための圧送計画の第一歩」が7月4日（水）、名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）にて開催され、名古屋地区のゼネコン技術者を中心に約200名以上が出席しました。

東海LLPの長谷川員典理事長は、「昨年の講習会が好評で今回の開催に至った。今回は閉塞や圧送業の現場から寄

せられた意見を基に講演する」との挨拶を行いました。

講習会は2部構成で行われ、1部では日本大学理工学部建築学科の中田善久教授による「閉塞を起こさないための安全な圧送計画」と題した講義が行われ、第2部では東海LLPの河崎慎吾副理事長による「知ってほしい圧送作業の実態」と題した講義が行われました。



東海LLPの技術講習会の様子

7月24日(火)、香川県生コンクリート工業組合青年部と香川県建設業協会支部青年支部による合同研修会が開催され、「ポンプ施工で求められる生コンと品質管理」をテ

マとした意見交換会に全圧連から永田哲夫技術委員(近畿)が参加いたしました。同研修会が取り上げられた記事をコンクリート新聞社の提供によりご紹介いたします。

# 共有認識にテーマ送圧

香川生コン・建設合同研修会



ポンプ施工で求められる生コンを議論

## ポンプ閉塞がネック 時間管理がポイントに

香川県生コンクリート工業組合青年部(丹生肇浩会長)は7月24日、高松市内のホテルで香川県建設業協会支部青年部と合同研修会を開いた。「ポンプ施工で求められる生コンと品質管理」をテーマとし、意見交換会を兼ね、生コンクリート構造物の建設

について、生コンと建設に求められるポイントを挙げた。同会を務めた香川工組の古田満広専務理事が討論のきっかけとして、「コンクリートはポンプ施工ではどのよう



永田氏

な生コンが求められる。ポンプ施工ではどのよう



平井氏

「圧送業者にとって一



柳谷氏

「ポンプ圧送における打ち重ね問題」も議題にあがった。永田氏は打ち重ね問題への圧送側の対応として、圧送計画の段階から参画することをあげ、「圧送業者を交えた打設計画の検討が大事」と指摘した。



新川氏

「施工性向上という意味では、一歩前進した」と回答した。建設側からは新川産業の新川伸幸代表取締役が「作業性を考慮してスランプの変更など



中田教授

と評価する一方で、「この気運を維持していかないといけない」と指摘した。建設業者には現場でスランプ変更が必要となつた時の予算の修正やそれが構造物の品質に影響を及ぼさないことを発注者に説明できるような技術者の養成をお願いしたい」と要望した。

## 圧送業 過酷な印象 近畿で待遇改善進む



野上氏

「圧送業のイメージ」については、平井氏が「生コンは非常に重い。高所だったり、足場が悪い現場でそれを扱うのは大変危険で過酷な業務だ」と思つてと理解を示した。永田氏は圧送業の待遇改善にふれ、「近畿地区では4週6休制が定着するなど改善が進んでいる。組合が販売しているポンプ車ホッパー内のコンクリート処理剤「R2」を介して改善することや、個人で改善することだ。個社で改善することでは難しいので、各地区ごとに組合を中心として取り組む必要がある」との考えを示した。意見交換会では生コン製造業、建設業ともに、圧送計画の重要性を認識したとの声が相次ぐなど、良質なコンクリート構造物の構築に向けた認識を深める機会となったようだ。

## 現場との連絡を密に 打ち重ね問題に対処

### 打ち重ね問題に対処

「ポンプ圧送における打ち重ね問題」も議題にあがった。永田氏は打ち重ね問題への圧送側の対応として、圧送計画の段階から参画することをあげ、「圧送業者を交えた打設計画の検討が大事」と指摘した。

### 四国地区特集

「施工性向上という意味では、一歩前進した」と回答した。建設側からは新川産業の新川伸幸代表取締役が「作業性を考慮してスランプの変更など

# 『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』 発刊のご案内

「コンクリートポンプ圧送マニュアル」は、コンクリート圧送技術・技能のレベルアップを図り、安全作業の推進、より良いコンクリート構造物を造るための会員の座右の書となることを目指し、昭和 58 年 7 月に発刊されました。

その後、コンクリート構造物の高層化・長大化や高強度・高流動といったコンクリートの高度化、コンクリートポンプ車の開発・改良による性能強化といった数々の技術的革新に対応するため、会員の総力を結集して全内容を一新し、平成 11

年 3 月に「改訂版」を発刊、その後国際 (SI) 単位への移行、新機種・新情報を盛り込み再改訂した「2006 年版」を平成 18 年 8 月に発刊しています。

今般、全面改訂となる『最新 コンクリートポンプ圧送マニュアル』を発刊いたします (井上書院 A4 版・約 300 ページ)。

数少ないコンクリートポンプ工法の実務に関する技術書であり、圧送技能者のみならず建設技術者、コンクリート関連の技術者の方々にも、大いに役立つものと推察いたします。

一般書店でもご購入が可能です。全圧連の会員の皆さまへは、安全・技術講習会や特別教育用のテキストとして、全圧連より会員価格で販売いたします。ぜひお求め下さいませようお願いいたします。



※画像はイメージです。  
実際の表紙とは異なります。

近日発売!

# 全圧連福祉共済制度

ぜひご加入ください

## 制度の特徴

- ①お手頃な掛金で大きな保障
- ②業務上・業務外を問わず 24 時間保障
- ③医師の審査はなく告知書扱いで加入可能

制度の内容、加入申込み方法については、  
全圧連事務局へお問い合わせ下さい

★全圧連の福祉共済制度は、会員の皆さまにご利用いただける労災上乘せ制度で、184 社、1,346 名の会員の皆さまに利用されています (2018 年 6 月末時点)。

★全圧連の会員であれば、従業員だけでなく事業主・会社役員、単協事務局の役職員も加入することができ、業務時間を問わず 24 時間保障されます。

★掛金は全額損金として必要経費に参入でき、期間終了後の余剰金は配当金として単協事務局に還付されます。

草野球の試合中、  
転倒して骨折、  
15 日間入院しました

不慮の事故による入院の場合、  
1 口につき 1,500 円を入院日数  
分 (120 日限度) 給付します。

従業員が  
亡くなりました

病気等による死亡の場合、  
1 口につき 200 万円の給付。  
不慮の事故による死亡の場合は、  
1 口につき 300 万円を給付します。

本年度より、保険料率の改定により掛金がお安くなりました (※一部を除く)。

建設業界の皆様へ

# 国が作った退職金制度、建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

◎法律に基づき運営される国が作った制度

◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価

◎国からの財政上の支援  
(国の助成により掛金の一部が免除)

特長

◎掛金は全額非課税  
(損金または必要経費に算入できます)

◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給

◎加入の手続きは簡単  
(各都道府県の建退共支部で加入)

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
40年	312万円	603万円
35年	273万円	489万円
30年	234万円	390万円
25年	195万円	302万円
20年	156万円	225万円
15年	117万円	157万円
10年	78万円	94万円

※退職金額は、1年につき、  
310円(1日)×21日(1ヶ月)×12月(1年)  
の掛金を納めたときの金額です。

※1万円未満は、切捨てしています。

●加入できる事業主  
建設業を営む事業主

●対象となる労働者  
建設業の現場で働く方

●掛金は  
一日 310円(加入労働者ひとり)

## 建退共に参加の事業主の皆様へ

建退共制度の利用に当たっては、下記の七点にご留意ください。

- ① 共済証紙の購入は、元請・下請を含めた対象労働者と就労日数に応じた額を購入してください。
- ② 公共工事・民間工事を問わず共済手帳に就労日数に応じた共済証紙の貼付を忘れずをお願いします。
- ③ 掛金の負担は、全額事業主負担となっております。
- ④ 被共済者本人に共済証紙の貼付状況を確認させてください。
- ⑤ 共済手帳に250日分貼り終えたらすみやかに更新手続きを行ってください。
- ⑥ 被共済者が事業所を退職したときは、必ず共済手帳をお渡しください。  
また、退職金の受給資格を有する被共済者に退職金請求のご指導をお願いします。
- ⑦ 被共済者が事業所の代表者又は役員報酬を受けることになった場合は、継続加入することはできません。



### 独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号(ニッセイ池袋ビル)  
TEL 03-6731-2866(ダイヤルイン) FAX 03-6731-2895

建退共のホームページをぜひ、ごらん下さい。

建退共

検索



全圧連の動き

5月

- 10日 圧送技術大会 合同委員会(東京)
- 11日 第54回技術委員会WG(東京)
- 23日 第7回通常総会・常務会②
- 26日 登録基幹技能者認定委員会②(東京)

7月

- 4日 東海LLP 技術講習会(愛知)
- 10日 第55回技術委員会WG(東京)
- 11日 登録基幹技能者認定委員会幹事会(東京)
- 20日 第57回経営委員会(石川)

6月

- 12日 第62回技術委員会(東京)
- 16日 登録基幹技能者認定委員会③(東京)
- 27日 第63回経営委員会WG(東京)
- 28日 常務会③(東京)

8月

- 10日 登録基幹技能者認定委員会④(東京)
- 25日 登録基幹技能者登録講習・試験(静岡)
- ～28日

今後の主な予定

9月

- 8日 登録基幹技能者認定委員会⑤(東京)
- 14日 第20回事務局長会議(三重)
- 20日 第64回経営委員会WG(東京)
- 26日 第56回技術委員会WG(東京)

11月

- 9日 第21回若手幹部研修会(福岡)
- ～10日
- 15日 建専連全国大会(東京)
- 16日 第63回技術委員会(宮崎)

10月

- 6日 登録基幹技能者更新講習①(東京)
- 13日 登録基幹技能者更新講習②(大阪)
- 19日 第20回理事会・代表者会議・常務会④  
・全圧連設立30周年記念式典(東京)
- 27日 登録基幹技能者更新講習③(東京)

賛助会員の名称変更について

社名変更

賛助会員(第2種) 住理工ホース販売株式会社が、

**住友理工ホーステックス株式会社** に社名を変更されました。

本社所在地 ■ 〒623-0117 京都府綾部市とよさか町1番地(綾部工業団地内)  
TEL 0773-40-5250 FAX 0773-40-5251 <https://www.ht.sumitomoriko.co.jp/>

編集後記

今年の夏は厳しい暑さが続き、6月下旬から観測史上最高気温が次々と更新され、中には40℃を超える地域も見られました。熱中症の救急搬送人数は7月末までに昨シーズン(2017年4月末から9月末)の人数を上回り、まさに命に関わる危険な暑さとなりました。9月に入り、暑さがひと段落する日はあるものの、残暑の厳しい日も予想されます。熱中症予防への備えを十分にお取りいただくようお願いいたします。



一般社団法人  
全国コンクリート圧送事業団体連合会

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-13-5  
藤野ビル7階

TEL 03-3254-0731 FAX 03-3254-0732

Email: [info@zenatsuren.com](mailto:info@zenatsuren.com)

<http://www.zenatsuren.com>